

科目名	旅行業法					
科目名(英)	Travel Agency Law					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	三笥 秀一郎	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社にて営業職、添乗員、商品企画として勤務	
対象学科・学年	トラベル科・1年					
授業概要	旅行業を営むための条件や旅行者と契約を締結する際の規則など旅行業における法律を学び、実務レベルで必要な知識の習得を目的とする					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					旅行業を営むための手続きや規則を理解することができる。
		○				旅行業法における専門用語の意味を理解できる。
	○	○				国家試験の問題を60%(合格基準)以上解くことができる。
テキスト・教材 参考図書	「U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者速習レッスン2022年版」 ユーキャン自由国民社					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	国内の国家試験概要説明、法の目的			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	2	法の目的 演習問題(解答と解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	3	旅行業の定義			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	4	旅行業の定義 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	5	登録制度			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	6	登録制度 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	7	営業保証金制度			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	8	営業保証金制度 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	9	旅行業務取扱管理者、料金の掲示			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	10	旅行業務取扱管理者、料金の掲示 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	11	取引条件の説明と契約書面			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	12	取引条件の説明と契約書面 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	13	外務員、広告の表示			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	14	外務員、広告の表示 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	15	旅程管理			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	16	旅程管理 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	17	受託契約			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	18	受託契約 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	19	旅行業協会			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	20	旅行業協会 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	21	旅行業協会の弁済業務			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	22	旅行業協会の弁済業務 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	23	禁止行為			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
	24	禁止行為 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)	
25	事業の廃止、業務改善命令、登録の取消			学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)		

	26	事業の廃止、業務改善命令、登録の取消 演習問題(解答、解説)	学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)				
	27	旅行サービス手配業	学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)				
	28	旅行サービス手配業 演習問題(解答、解説)	学習した範囲の演習問題を解くこと(0.5時間)				
	29	旅行業法 理解度テスト	模擬試験に向け復習をしておくこと(2時間)				
	30	旅行業法まとめ 模擬試験	模擬試験の不正解部分の再学習を指示(2時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) 各テーマの講義終了後に配布する演習問題の理解度で確認と評価を行う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				80%
	演習問題	○	◎		◎		20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	旅行業約款・各種約款				
科目名(英)	Travel industry Agreement				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	大岡 牧代
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事
対象学科・学年	トラベル科1年				
授業概要	旅行業界ならびに旅行関連業界において、旅行者との間で契約を結ぶ上で、旅行業約款および各種関連約款(航空・フェリー・貸切バス・宿泊)の知識は必須である。 この授業では、旅行業従事者として必要な約款に関する知識を習得し、国内および総合旅行業務取扱管理者試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	目標				
	旅行業および運送・宿泊等旅行関連業界における約款の位置付けと重要性を説明できる。				
	標準旅行業約款における募集型企画旅行・受注型企画旅行・手配旅行契約・旅行相談契約の概要を説明することができる。				
関連約款(航空・JR・フェリー・貸切バス・宿泊)の概要を説明することができる。					
旅行業および関連約款の重要語句・数字等を暗記し、4肢択一や正誤判断問題を正確に解くことができる。					
国内および総合旅行業務取扱管理者試験の「旅行業約款、運送および宿泊約款」科目において6割以上得点することができる。					
テキスト・教材 参考図書	「U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン 2022年版」 ユーキャン自由国民社				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	旅行業約款 総則			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	2	用語の定義			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	3	契約の成立①(契約の申し込み)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	4	契約の成立②(契約締結拒否事由)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	5	契約の成立③(契約の成立、書面の交付)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	6	契約の変更①(契約内容の変更)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	7	契約の変更②(旅行代金の変更)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	8	旅行者の解除権			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	9	旅行者の解除権①(旅行開始前の解除)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	10	旅行者の解除権②(旅行開始後の解除)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	11	団体・グループ			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	12	旅程管理、責任			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	13	旅程保証①(変更補償金の支払い)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	14	旅程保証②(変更補償金が支払われない場合)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	15	旅程保証③(変更補償金の支払いの要否)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	16	特別補償①(特別補償とは)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	17	特別補償②(補償金等)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	18	特別補償③(損害補償金)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	19	特別補償④(特別補償と損害賠償)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	20	企画旅行契約・手配旅行契約 まとめ			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	21	旅行相談契約			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	22	関連約款①(フェリー)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	23	関連約款②(宿泊)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
	24	関連約款③(宿泊)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)
25	関連約款④(貸切バス)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)	

	26	関連約款⑤(貸切バス)	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)				
	27	関連約款⑥(国内航空)	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)				
	28	関連約款⑦(国内航空)	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)				
	29	関連約款⑧(国内航空)	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)				
	30	関連約款⑨(JR営業規則)	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1時間)				
評価方法	<p>(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) 授業内で配布する課題プリントを回収し、理解度の確認と評価を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	課題プリント	◎	○		◎		40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	国内地理対策					
科目名(英)	Domestic geography measures					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	若松 昌枝	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社にてカウンターセールスとして勤務	
対象学科・学年	トラベル科1年					
授業概要	観光地の名称や所在地、温泉地や自然、祭りや名産品などの観光資源全般に関する知識は、旅行業界を目指す者として、基礎であり重要な地位を占めるものである。授業では、国内旅行業務取扱管理者試験において、出題率の高い主要観光資源を地域ブロックごと、都道府県ごとにピックアップする。それらの特長や魅力を知り、国内旅行業務取扱管理者試験の地理分野で6割以上の正答率を目指す。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					47都道府県の地図と県庁所在地を答えることができる
	○					国内の温泉地を25か所以上挙げるができる
	○					47都道府県それぞれの観光資源を10以上挙げるができる
	○	○				観光資源と所在都道府県を一致させることができる
○	○				国内の主要な祭りや年中行事などの開催都道府県と開催月について説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	旅行実務シリーズ「国内観光資源」 JTB総合研究所 「旅に出たくなる地図 日本」 帝国書院 「国内観光地理 サブノート」 JTB総合研究所					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	47都道府県 ～県庁所在地、場所、地方について～			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	2	九州、中国、四国地方の温泉地			本日の内容の復習をし、温泉地と所在都道府県が一致するように暗記しておくこと(1時間)	
	3	近畿、中部、関東地方の温泉地			本日の内容の復習をし、温泉地と所在都道府県が一致するように暗記しておくこと(1時間)	
	4	東北、北海道地方の温泉地			小テスト①を実施するため、範囲を復習しておくこと(1時間)	
	5	九州地方の観光資源 ～福岡県、佐賀県、長崎県～			小テスト②を実施するため、範囲を復習しておくこと(1時間)	
	6	九州地方の観光資源 ～大分県、熊本県～			該当箇所のサブノートをまとめておくこと(1時間)	
	7	九州地方の観光資源 ～宮崎県、鹿児島県～			該当箇所のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	8	九州地方の観光資源 ～沖縄県～			該当箇所のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	9	四国地方の観光資源 ～香川県、愛媛県～			小テスト③を実施するため、範囲を復習しておくこと(1.5時間)	
	10	四国地方の観光資源 ～徳島県、高知県～			該当箇所のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	11	中国地方の観光資源 ～山口県、広島県～			該当箇所のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	12	中国地方の観光資源 ～岡山県、鳥取県、島根県～			小テスト④を実施するため、範囲を復習しておくこと(1.5時間)	
	13	関西地方の観光資源 ～兵庫県、大阪府～			該当箇所のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	14	関西地方の観光資源 ～滋賀県、京都府～			該当箇所のサブノートをまとめておくこと	
	15	関西地方の観光資源 ～奈良県、和歌山県、三重県～			小テスト⑥を実施するため、範囲を復習しておくこと	
	16	中部地方の観光資源 ～愛知県、静岡県～			該当箇所のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	17	中部地方の観光資源 ～山梨県、長野県～			該当箇所のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	18	中部地方の観光資源 ～岐阜県、福井県、富山県～			該当のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	19	中部地方の観光資源 ～石川県、新潟県～			該当のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	20	関東地方の観光資源 ～神奈川県、東京都～			小テスト⑦を実施するため、範囲を復習しておくこと(1.5時間)	
	21	関東地方の観光資源 ～千葉県、茨城県、埼玉県～			該当のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	22	関東地方の観光資源 ～栃木県、群馬県～			該当のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	23	東北地方の観光資源 ～福島県、山形県～			該当のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	24	東北地方の観光資源 ～宮城県、秋田県～			該当のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	
	25	東北地方の観光資源 ～岩手県、青森県～			該当のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)	

	26	北海道の観光資源	該当のサブノートをまとめておくこと(0.5時間)				
	27	日本国内の世界遺産について 知っておきたい名数について	本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと(1時間)				
	28	国内の主要な祭りや年中行事、名産品について	本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと(1時間)				
	29	第1回 国内旅行業務取扱管理者試験 模擬問題実施 (地理問題)	本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと(1時間)				
	30	第2回 国内旅行業務取扱管理者試験 模擬問題実施 (地理問題)	定期テスト範囲を復習しておくこと(3時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する (2) 小テストを7回実施する (3) サブノートの提出を3回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				80%
	小テスト	◎	○				10%
	サブノート提出	○	◎		◎		10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	国内運賃料金					
科目名(英)	Domestic Fare Rates					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	大岡 牧代	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事	
対象学科・学年	トラベル科1年					
授業概要	旅行業界ならびに旅行関連業界において、JR・航空・宿泊・フェリー・貸切バス等、運送・宿泊に関わる運賃料金の知識は必須である。この授業では、旅行業ならびに運送・宿泊従事者として必要な運賃料金制度に精通し、計算技能を習得することを目指すと同時に、国内および総合旅行業務取扱管理者試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				JRの運賃料金制度について理解し、計算することができる。
	○	○				国内航空運賃料金について理解し、計算することができる。
	○	○				宿泊料金について理解し、計算することができる。
	○	○				フェリー・貸切バスの運賃料金について理解し、計算することができる。
○	○				国内および総合旅行業務取扱管理者試験の「国内旅行実務」科目において運賃料金計算分野で6割以上得点することができる。	
テキスト・教材 参考図書	「U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン 2022年版」ユーキャン自由国民社 「JR時刻表」2022年4月版 株式会社交通新聞社					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	旅行業務取扱管理者試験の概要			国家試験の概要・科目を再確認すること。(0.5時間)	
	2	JR時刻表の使い方			課題プリントで時刻表を使う練習をすること。(0.5時間)	
	3	JRの基礎知識			学習範囲を復習し、用語の定義を覚えること。(0.5時間)	
	4	JR運賃計算①(運賃計算の基礎)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	5	JR運賃計算②(運賃計算の基礎)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	6	JR運賃計算③(3島会社とまたがる場合)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	7	JR運賃計算④(通過連絡運輸)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	8	JR運賃計算⑤(運賃計算の特例)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	9	JR運賃計算⑥(運賃計算の特例)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	10	JR運賃計算⑦(学生割引)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	11	JR運賃計算⑧(往復割引)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	12	JR運賃計算⑨(団体割引)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	13	JR運賃計算⑩(運賃計算 まとめ)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	14	JR料金計算①(料金計算の基礎)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	15	JR料金計算②(特急料金・急行料金・座席指定料金)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	16	JR料金計算③(グリーン料金・寝台料金)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	17	JR料金計算④(最速達型新幹線特急料金)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	18	JR料金計算⑤(乗継割引の種類)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	19	JR料金計算⑥(乗継割引の計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	20	JR料金計算⑦(在来線特急料金の通し計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	21	JR料金計算⑧(新幹線特急料金の通し計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	22	JR料金計算⑨(東海道・山陽・九州新幹線の料金計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	23	JR料金計算⑩(東北新幹線の料金計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
	24	JR料金計算⑪(東北・北海道新幹線の料金計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)	
25	JR料金計算⑫(山形・秋田新幹線の料金計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)		

	26	JR料金計算⑬(北陸新幹線の料金計算)	学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)				
	27	JR乗車券類の取扱い、払戻し	学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)				
	28	国内航空運賃料金①(基礎知識、運賃の種類)	学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)				
	29	国内航空運賃料金②(払戻し)	学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)				
	30	宿泊・フェリー・貸切バスの計算	学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する (2) 授業内で配布する課題プリントを回収し、理解度の確認と評価を行う 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				60%
	課題プリント	◎	○		◎		40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(TOEIC)対策 I A				
科目名(英)	TOEIC Test Strategies I A				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	和田 菜穂
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系航空会社にて客室乗務員として勤務
対象学科・学年	トラベル科1年				
授業概要	国際国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるTOEIC700点以上スコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	新TOEICテスト書き込みドリルボキャブラリー編、リスニング編、Basic Reading Strategies for the TOEIC TEST 他				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	レベル分けテスト			
	2	TOEIC学習目標と出題形式、解法のテクニック、Part5対策、ボキャブラリー、WORD FORM(品詞、派生語)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	3	Part5対策、ボキャブラリー、前置詞、リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	4	Part5対策 ボキャブラリー 接続詞 前置詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	5	Part5対策 ボキャブラリー 動詞、助動詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	6	Part5対策 ボキャブラリー 代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	7	Part5対策ボキャブラリー形容詞、副詞リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	8	Part5対策 ボキャブラリー 冠詞、序数			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	9	Part5対策 ボキャブラリー 比較級 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	10	Part5対策 ボキャブラリー 最上級			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	11	Part5対策 ボキャブラリー 形容詞、副詞、比較級、最上級 リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	12	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	13	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	14	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞、分詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	15	Part5対策 ボキャブラリー 関係代名詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	16	Part5対策 ボキャブラリー 関係副詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	17	Part7対策 ボキャブラリー 文法(仮定法) リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	18	Part7対策 ボキャブラリー 文法(仮定法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	19	Part7対策 ボキャブラリー 文法(話法) リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	20	Reading part5対策 ボキャブラリー			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	21	Reading Part5対策 ボキャブラリー リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	22	Reading対策 ボキャブラリー Skimming Scanning			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	23	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
24	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	

	25	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	26	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	27	Reading Part6対策 リスニングPart1.2対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	28	Reading Part6対策 リスニングPart1.2対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	29	Reading Part6対策 リスニングPart1.2対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	30	Reading Part6対策 リスニングPart1.2対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	31	Reading Part6対策 リスニングPart1.2対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	32	Reading Part7対策 リスニングPart3対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	33	Reading Part7対策 リスニングPart3対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	34	Reading Part7対策 リスニングPart3対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	35	Reading Part7対策 リスニングPart3対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	36	Reading Part7対策 リスニングPart3対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	37	Reading Part7対策 リスニングPart3対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	38	Reading Part7対策 リスニングPart4対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	39	Reading Part7対策 リスニングPart4対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	40	Reading Part7対策 リスニングPart4対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	41	Reading Part7対策 リスニングPart4対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	42	Reading Part7対策 リスニングPart4対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	43	Reading Part7対策 リスニングPart4対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	44	Reading Part7対策 リスニングPart4対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	45	定期試験対策 学期総括					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は700点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを20回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IP)	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策 I A					
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies I A					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	岡本 彩 石田 小雪	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	岡本:大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)	
対象学科・学年	トラベル科1年					
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集、TOEIC L&Rテスト公式問題集					
回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト				
	2	オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検模擬試験 問題1 筆記				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説大問1				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検模擬試験 問題1 解答&解説大問1、2				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検模擬試験 問題1 解答&解説大問3				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検模擬試験 問題1 解答&解説大問3				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検模擬試験 問題1 モデルライティング練習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
21	英検本試験解説 大問1				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	

授業計画	22	英検本試験解説 大問2	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	23	英検本試験解説 大問3	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	24	学外英語研修	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	25	英検本試験解説 モデルライティング練習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	TOEIC 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	TOEIC 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	TOEIC 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	TOEIC 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	TOEIC 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	31	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	32	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	33	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	34	TOEIC 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	35	TOEIC 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	36	TOEIC 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	37	TOEIC 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	38	TOEIC 語彙、Part6、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	39	TOEIC 語彙、Part6、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	40	TOEIC 語彙、Part7、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	41	TOEIC 語彙、Part7、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	42	TOEIC模擬試験 問題1 筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	43	TOEIC模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	44	TOEIC模擬試験 問題1 解答&解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	45	前期まとめ					
	評価方法	<p>(1)学内で英検を実施する。英検2級完全合格を90点、1次合格を85点、1次不合格のバンド-1~-3は80点~75点、バンド-4~-6は75点~70点、バンド-7以下は65点とする。</p> <p>(2)定期試験(筆記)を実施する。</p> <p>(3)小テストを実施する。</p> <p>以上を下記の観点・割合で評価する。</p> <p>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	○				60%
小テスト		◎	○				40%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(準2級)対策 I A				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies I A				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	野々村賢一
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	英語講師21年
対象学科・学年	トラベル科1年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
					目標
					説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
					社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)
					電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
					与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション			
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	4	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	5	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	6	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	7	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	8	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	9	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	10	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	11	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	12	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	13	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	14	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	15	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	16	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	17	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	18	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	19	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	20	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	21	英検本試験解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	22	英検本試験解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	23	英検本試験解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。
24	学外英語研修			予習、復習を行って授業に臨むこと。	

	25	英検本試験解説					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	26	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	27	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	28	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	29	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	30	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	31	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	32	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	33	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	34	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	35	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	36	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	37	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	38	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	39	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	40	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	41	TOEIC Part5、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	42	TOEIC模擬試験					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	43	TOEIC模擬試験					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	44	TOEIC模擬試験					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	45	前期まとめ					予習、復習を行って授業に臨むこと。
評価方法	(1)学内で英検を実施する。英検準2級完全合格を85点、1次合格を80点、1次不合格のバンド-1は75点、バンド-2は73点、バンド-3は70点、バンド-4は68点、バンド-5は65点、バンド-6は63点、バンド-7以下は60点とする。 (2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	国内研修					
科目名(英)	Domestic training					
単位数	0単位	時間数	24時間	担当者		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	トラベル科・1年					
授業概要	事前に現地での行動計画を立てることでプランニングを学ぶとともに、関西地区の地理や文化についての理解を深める。また、実際に添乗員の業務を見ることで、将来、自分が目指す業界をイメージできる体験、機会の場とする。					
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					関西地区の観光地や物産、文化等の観光資源を深めることができる。
		○				関西地区の観光地や物産、文化等の観光資源を説明することができる。
		○				エリアに応じた行程表(行動予定)を作成することができる。
			○			計画・予定に沿って行動することができる。
			○			団体行動を認識し、周囲に配慮して研修を修了することができる。
テキスト・教材 参考図書	旅行実務シリーズ「国内観光資源」 JTB総合研究所 ガイドブック					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	関西地区の観光資源－自然景観の学習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	2	関西地区の観光資源－観光地の学習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	3	関西地区の観光資源－名産品の学習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	4	関西地区の観光資源－交通網の学習(鉄道路線・航路)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	5	行程表(行動予定表)－グループワークでの意見の集約			観光資源学習内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	6	行程表(行動予定表)－グループワークでの行程表作成			意見集約内容を確認しておくこと(0.5時間)	
	7	行動表(行動予定表)－パワーポイントによるプレゼンテーション資料作成			自グループの行程表を確認しておくこと(0.5時間)	
	8	行動表(行動予定表)－グループ毎の行動予定を発表			プレゼンテーション内容の整理をしておくこと(1時間)	
	9	実地研修－添乗員業務の学習			全体スケジュールの確認をしておくこと(0.5時間)	
	10	実地研修－行動予定の実地検証			自グループの行程表を確認しておくこと(0.5時間)	
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	(1)終了後レポートを提出する (2)グループごとで発表を行う 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート作成・発表				◎	
履修上の注意	現地研修不参加の場合は、事前の学習内容理解と行動予定表内容をもって評価する。					

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け、実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字検定準2級程度の漢字までの読み書きができる	
	○					方程式・因数分解などの問題を理解し解答することができる	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる	
	○					日本をはじめとした主要国の地理や政治についての基礎的な内容を理解し説明ができる	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目概要・シラバス説明			次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)		
	2	ROUND1: 漢字の知識、英語(動詞の活用変化)、主な国際機関について、時事用語			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	3	ROUND2: 社会(環境問題、選挙について、国内政治について、宗教)、漢字の知識			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	4	第1回実力テスト ROUND2: 英語(英文書き換え)、敬語表現、文学史			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	5	ROUND3: 英語(単語の知識)、社会(憲法に関して、思想)、国語(漢字の知識、四字熟語)			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	6	ROUND4: 社会(歴史、国際連合について)、文学史			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	7	ROUND4: 社会(歴史、地理)、計算問題(分数) ROUND5: 国語(漢字の知識)、時事問題			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	8	ROUND5: 社会(世界の発明家について)、英語(動詞の活用変化、時制、仮定法) ROUND6: 主な国際機関、英語(空所補充)			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	9	ROUND7: 国語(四字熟語)、社会(各国の歴史と現在の状況、名言、名句) ROUND8: 国語(ことわざ)			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	10	ROUND8: 社会(天皇の国事行為について、内閣について、歴史)、英語(単語の知識) ROUND9: 英語(熟語の知識)、時事問題、数学(損益算)			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	11	ROUND9: 社会(歴史、国内経済)、数学(指数、割合)、英語(空所補充)			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	12	第2回実力テスト ROUND10: 英語(単語の知識)			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	13	ROUND10: 社会(経済)、数学($\sqrt{\quad}$ の計算)、国語(漢字の知識)			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	14	ROUND10: 社会(各国の歴史と現在の状況)、英語(空所補充)、時事問題			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
15	ROUND1~10のまとめ			試験範囲の部分の復習(1.5時間)			
評価方法	(1) 定期試験(筆記) (2) 小テスト (3) 出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	○		○		80%
	小テスト	○	○		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	Word						
科目名(英)	Word						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	Word2019を使用し、日本語の入力および文書処理能力を身につけ、ビジネスの現場で必要とされるレポートや報告書の作成活用能力の向上を図ることを目的として実施する。またビジネス文書作成の基礎的な技能を有していることを確認するためWord文書処理技能認定試験3級の合格を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
			○		キーボードの文字位置を覚え、キーボードを見ずにタイピングすることができる		
		○	○		ビジネス文書の基本的な構成を組み立てることができる		
		○	○		Wordの編集操作を行い、様々な書式のビジネス文書を作成することができる		
テキスト・教材 参考図書	「Word2019クイックマスター(基本編)」 ウィネット 「Word文書処理技能認定試験3級問題集(2019対応)」サーティファイ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	正しいタイピング・Word基礎・文字入力・文字変換・文字修正			タイプクイックLesson1～6 (1時間)		
	2	正しいタイピング・Word基礎・短文入力・短文変換			タイプクイックLesson1～6 (1時間)		
	3	正しいタイピング・入力と編集			タイプクイックLesson1～6 (1時間)		
	4	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・基礎)			タイプクイックLesson1～6 (1時間)		
	5	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表)			タイプクイックLesson1～6 (1時間)		
	6	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・図解)			タイプクイックLesson1～6 (1時間)		
	7	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表・図解・イラスト)			タイプクイックLesson1～6 (1時間)		
	8	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表・図解・イラスト)			タイプクイックLesson1～6 (1時間) ⇒提出		
	9	検定対策(練習問題レベル1)			検定問題集の実施 (1時間)		
	10	検定対策(練習問題レベル2)			検定問題集の実施 (1時間)		
	11	検定対策(練習問題レベル3)			検定問題集の実施 (1時間)		
	12	検定対策(模擬問題レベル1)			検定問題集の実施 (1時間)		
	13	検定対策(模擬問題レベル2)			検定問題集の実施 (1時間)		
	14	検定対策(サンプル問題)			検定問題集の実施 (1時間)		
15	前期実技試験			検定問題集の実施 (1時間)			
評価方法	(1)Word文書処理技能認定試験3級 (2)前期実技試験 (3)タイプクイック提出(Lesson6まで実施し、正確率95%とする) 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	Word文書処理技能認定試験		○	◎			50%
	前期実技試験		○	◎			40%
	タイプクイック提出			◎			10%
履修上の注意	操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する						

科目名	社会教養 I A						
科目名(英)	Social Study I A						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	麻生塾の規則を知る。学科の特性を知る。団体行動の際、自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーション力などを養う。クラス運営に必要な役割を理解し、役割を担う。また、学科の目指す業界の内容を全体的に学び、就職に必要な準備を行っていく。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				自身で目標を設定し、達成に向けた行動を心がけることができる。	
	○					就職活動準備に向けて、情報共有、収集を行い、希望職種について理解できる。	
		○				作文の書き方を学び、課題の作文を書く。自己紹介シートを完成できる。	
				○		クラスで方向性を共有し、協調性を深めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	学則について～ルールとマナーとは			学生便覧を読んでおくこと(0.5時間)		
	2	目標設定・クラス内での自身の役割について			目標を考えてくること(0.5時間)		
	3	作文の書き方を学習し、自己表現の方法を知る			作文内容を考えてくること(0.5時間)		
	4	作文の下書き作成			作文内容を考えてくること(0.5時間)		
	5	作文の清書			清書にあたり、作文構成の調整をしておくこと(0.5時間)		
	6	国家試験の科目の説明、出題形式・配点等の理解			関連教科書に目を通しておくこと(0.5時間)		
	7	旅行業界の概要説明			ノート内容の整理、復習をしておくこと(0.5時間)		
	8	旅行業界における職種の説明と業務内容			ノート内容の整理、復習をしておくこと(0.5時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)出席状況を意欲点として評価 (2)前期中に2回作文を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		80%
	作文提出	○			○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	GCB I						
科目名(英)	Global Citizen Basic I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンを目指そう			振り返りレポートの作成(0.5時間)		
	2	「協働」の態度を持った学生生活			振り返りレポートの作成(0.5時間)		
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～			振り返りレポートの作成(0.5時間)		
	4	マナーの本質 I			振り返りレポートの作成(0.5時間)		
	5	マナーの本質 II			振り返りレポートの作成(0.5時間)		
	6	グローバルシティズンとしての日常			振り返りレポートの作成(0.5時間)		
	7	グローバルシティズンとしての目標			振り返りレポートの作成(0.5時間)		
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて			振り返りレポートの作成(0.5時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。						